

市川市立福栄中学校 令和7年度 学習の指針

教科

美術科

学年

1年

1. 学習の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働きさせ、生活と社会生活の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1学期	<ul style="list-style-type: none">○オリエンテーション○レタリングの基礎 「永」の字を描こう○色彩の基礎 「100色の色相環」○平面構成（デザイン） 「誕生月のイメージアートを描こう」	<ul style="list-style-type: none">・一年間の学習内容や持ち物、評価について理解を深める。・書体の特徴を理解し、表現意図にあった書体でレタリングをする。・形や色彩のもつ効果について理解を深める。・表したいイメージを、単純化した構成や抽象形による構成、立体感のある構成などの平面構成としてまとめ、表現する。
2学期	<ul style="list-style-type: none">○鑑賞 「絵の中をよく見ると」○前期小テスト	<ul style="list-style-type: none">・造形的な構成要素に着目して鑑賞し、自分なりの感想・考えを持つ。・これまでの授業で学習した内容について、自分なりに整理して活用できる形で理解できているか確認する。
3学期	<ul style="list-style-type: none">○彫刻 「木彫～鍋敷きを彫る～」	<ul style="list-style-type: none">・素材に親しみを持ち、技法を生かして制作する楽しみを味わう。制作に用いる技法、その技法に応じた用具の使い方を理解して、表現の意図に応じた効果的な制作をする。

3. 評価

(1) 内容および方法

	評価の内容	評価の方法
①知識・技能	作品の意図に応じて、身に付けた知識・技術を適切に用いて表現できているか。	・完成作品 ・小テスト
②思考・判断・表現	自らの考えをもとに、作品の構想を練ることができているか。表現の意図に応じた技法を用いることができているか。	・アイデアスケッチ ・デザイン画・完成作品 ・感想文
③主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組むことができているか。自らの表現を真摯に追求し表現することができているか。	・授業・作品への取り組み ・鑑賞への取り組み ・提出物の状況、内容

(2) 観点と評価の関係

			評定
A	A	A	5
A	A	B	4
A	B	B	
A	A	C	
A	B	C	
B	B	B	
B	B	C	
A	C	C	
B	C	C	2
C	C	C	1

<評価の注意事項>

評価は、各題材毎に上記の評価方法に基づいて算出し、期間内の学習内容を各観点毎に合算したものが評定になります。各題材の目標を基に自分なりの主題を生み出すこと、そして自分の主題を表現する過程でより良い表現につなげるために表現方法を試行錯誤することが評価につながります。

4. 教科に関するアドバイス

- ・学習したことをもとに、自分なりの見方・感じ方を深め、考えたことを自分なりに作品に表現しましょう。
- ・課題に必要な資料を集め、調べ学習をすることが作品を制作するうえで大切なことです。
- ・忘れ物をせず、毎時間授業にしっかり取り組み、自分と向き合い学びを深める時間にしましょう。
- ・作品・道具・授業プリントを大切にし、提出期限を守りましょう。
- ・美術表現では一人ひとりの個性が味わい深い作品を生み出します。完成まで積極的に作品に取り組み、たくさんのかわいい作品が生まれることを期待しています。